

《無断転載を禁ずる》

2024年度 群馬県立女子大学文学部美学美術史学科
学校推薦型選抜

出題意図

【小論文】

岡本隆志「明治工芸で考えるオリジナリティをめぐる主従関係―渡辺省亭・濤川惣助・河村蜻山・沼田一雅」、増野恵子ほか編『もやもや日本近代美術―境界を揺るがす視覚イメージ』（勉誠社、2022年）を題材に、次のような出題を行いました。

問（1）

本学科に入学して学ぶために必要な、基本的な語彙力があるかを問いました。

問（2）

オリジナリティをめぐる筆者の疑問について、本文の議論を適切にまとめられているか、自身の考えを論理的に述べられるか、主張に一貫性があるか、文章表現および表記が適切か、以上を問いました。